

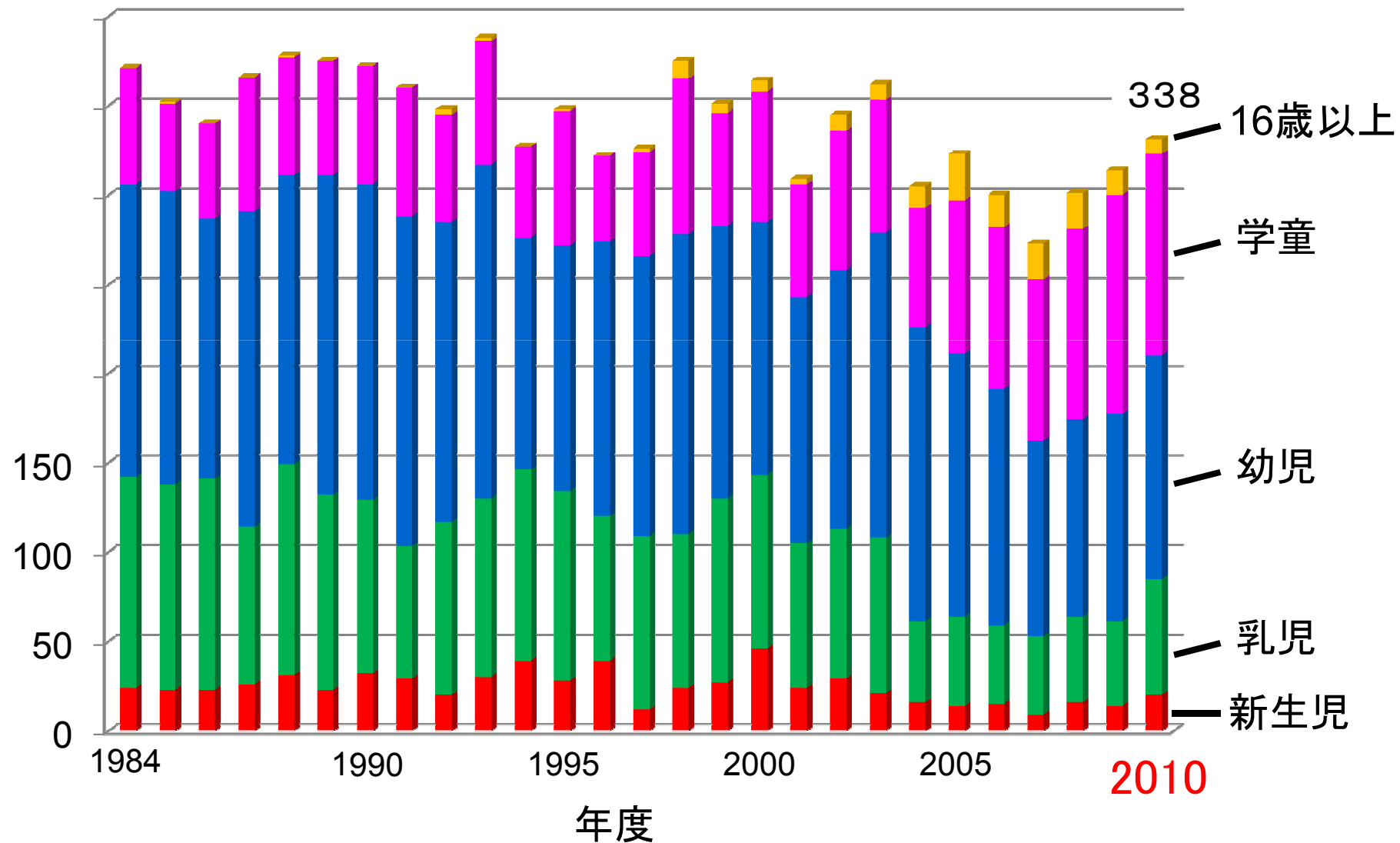
2010年度手術症例

- ・ 対象：2010年4月1日～2011年3月18日
(全身麻酔下の検査・処置症例を含む)
- ・ 総手術件数：338件〔緊急：84件(24.8%)〕
- ・ 年齢分布

新生児	23件	(7%)
乳児	68件	(20%)
幼児(2～5歳)	125件	(37%)
学童(6～15歳)	114件	(34%)
16歳以上	8件	(2%)

年間手術件数と年齢分布の推移

手術件数

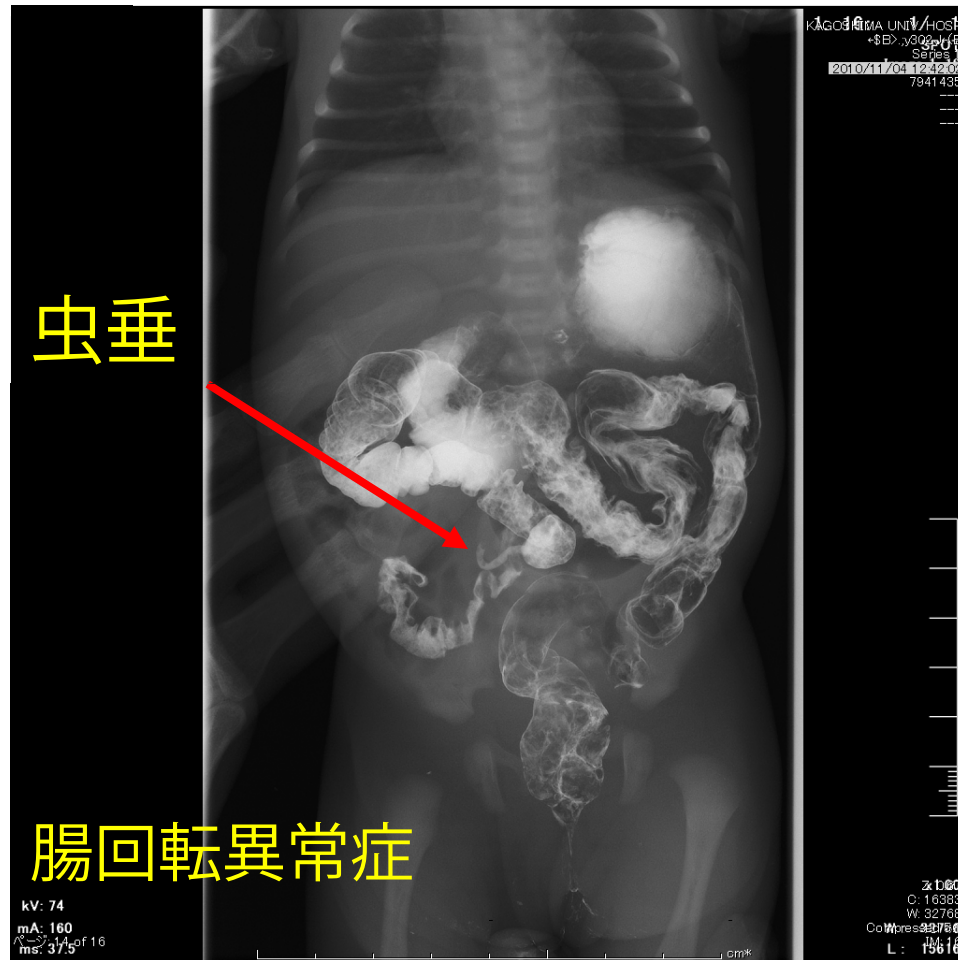


新生児症例

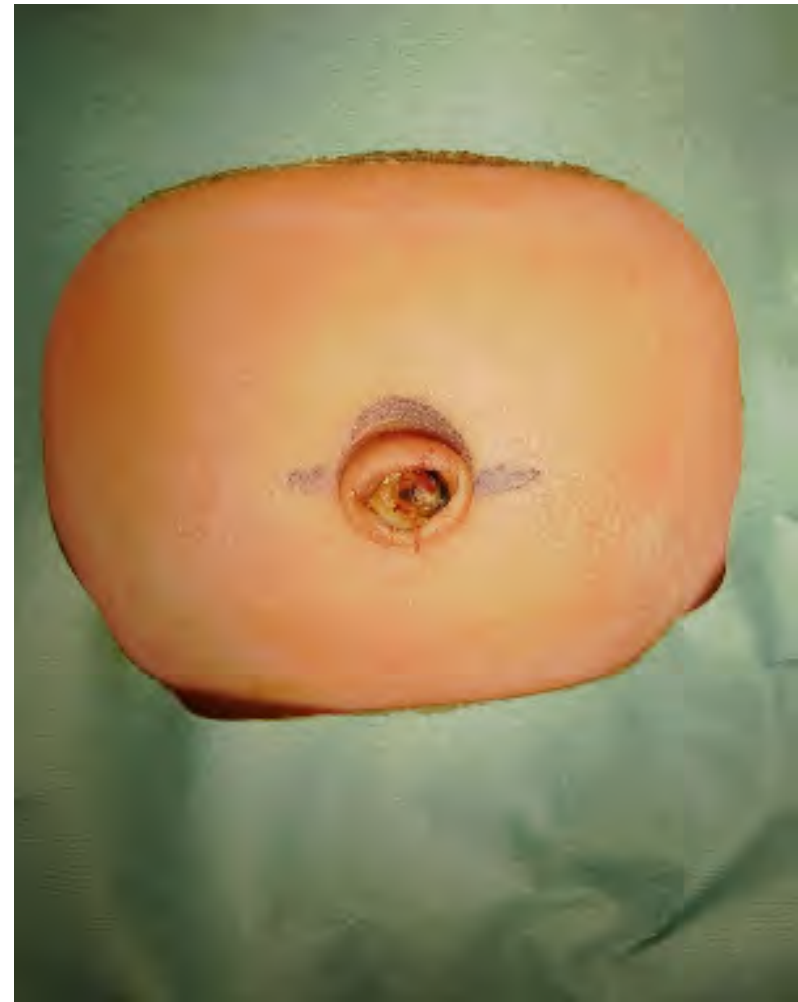
疾患名	症例数	手術(症例数)
食道閉鎖症(A型)	1例	胃瘻造設術
食道閉鎖症(C型)	1例	気管食道瘻切離、食道食道吻合術
肥厚性幽門狭窄症	2例	ラムステッド手術(2)
空腸閉鎖症	1例	閉鎖部切除、端々吻合術
回腸閉鎖症	2例	閉鎖部切除、端々吻合術(2)
腸回転異常症	4例	ラッド手術、虫垂切除術(4)
ヒルシュスプルング病疑い	1例	人工肛門造設術
横隔膜ヘルニア	3例	胸腹裂孔閉鎖術(3)
右下葉CCAM	1例	右下葉切除術
精巣捻転	1例	捻転解除、精巣固定術
舌根部甲状舌管嚢胞	1例	嚢胞壁部分切除・開窓術

症例：生後1日 女児

主訴：胆汁性嘔吐



注腸造影



皮膚切開
(臍上部孤状切開)

手術



wound retractor XS



時計方向に180度捻転
ラッド手術、虫垂切除術

症例：生後19日 女児

主 訴：喘鳴

現病歴

在胎39週、3100g 正常経膈分娩にて出生

哺乳後の喘鳴、嘔吐を認めた。

生後19日：体重増加不良の精査にて近医を受診

喘鳴を認めるため喉頭ファイバー検査→舌根部に腫瘤(+)

画像検査のために鎮静剤を投与→アノーゼ出現

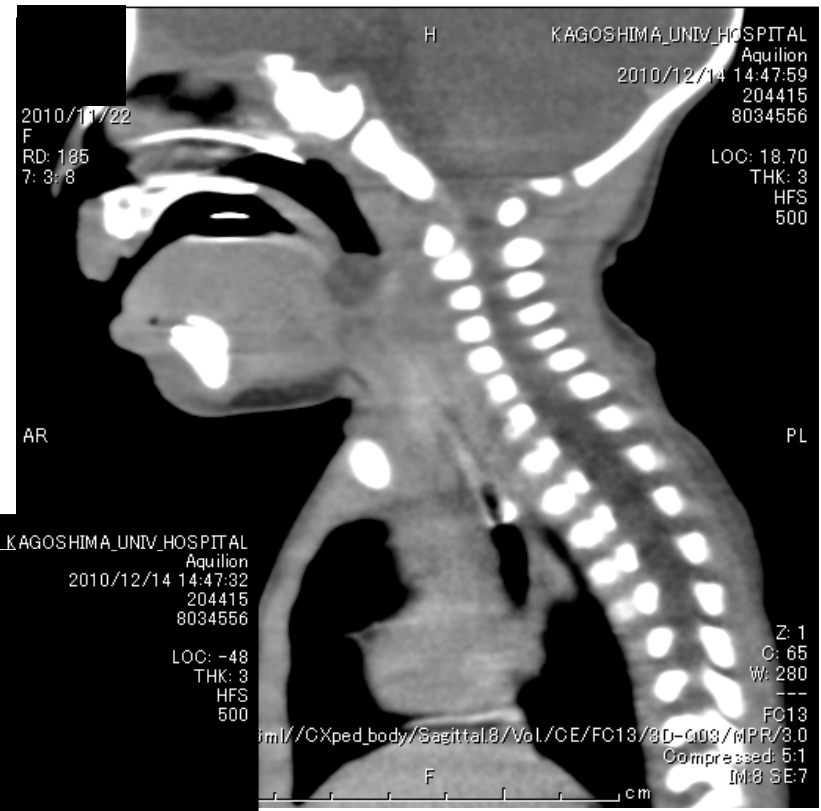
来院時所見

陥没呼吸(+)、吸気呼気時の喘鳴(+)

酸素飽和濃度90%(5L/min、吹き流し)

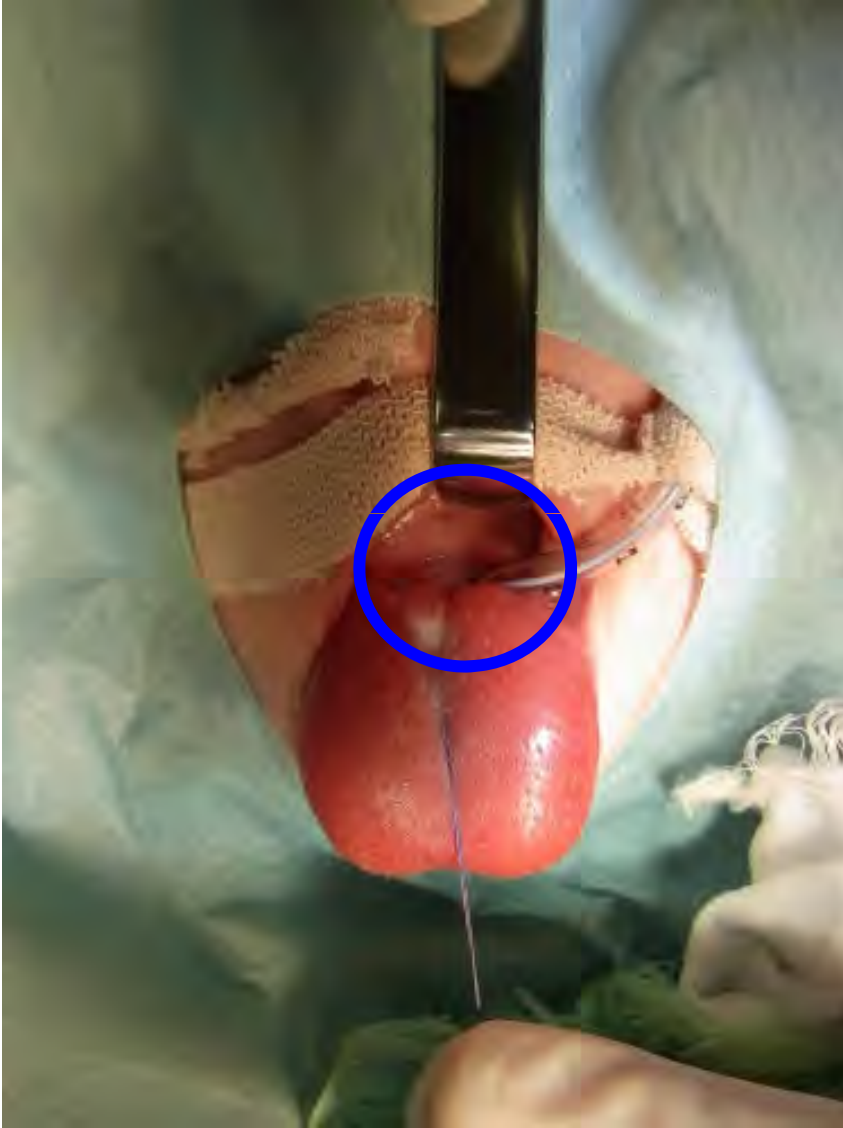
→気管内挿管

CT 検査



舌根部甲状舌管嚢胞

手術所見



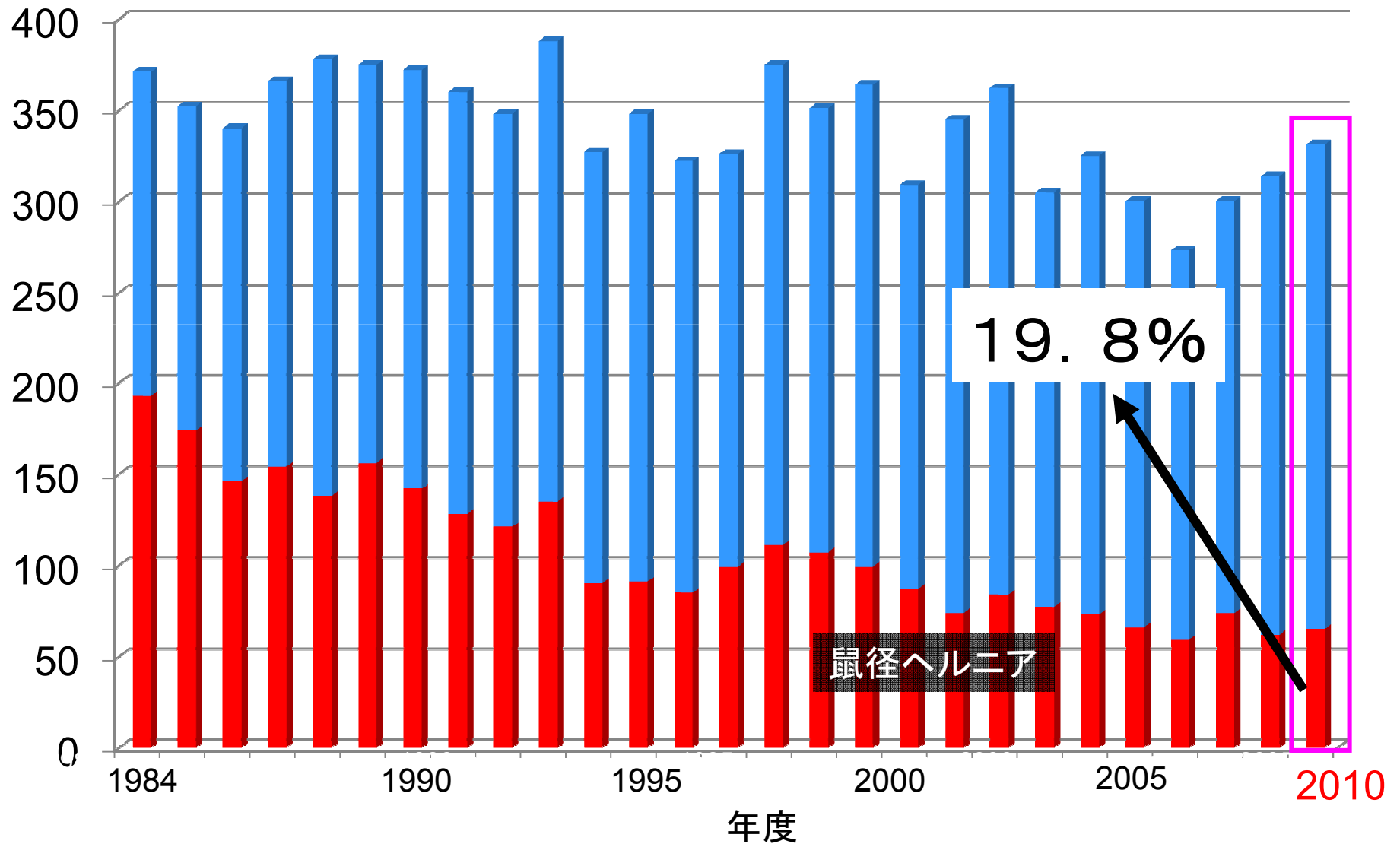
外鼠径ヘルニア・停留精巣・臍ヘルニア

病名	乳児	幼児	学童	計
外鼠径ヘルニア (陰嚢水腫含む)	21	33	13	67*
停留・移動精巣	1	19	2	22
臍ヘルニア	2	3	0	5
計	24	55	15	94

* : 13例は腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術(LPEC)

年度別手術件数と鼠径ヘルニアの推移

手術件数



胸・腹腔鏡(補助)下手術症例

疾患名	手術	症例数
腹腔鏡(補助)下		
急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術	24例 *
胃食道逆流症	腹腔鏡下噴門形成術	2例
遺伝性球状赤血球症	腹腔鏡下胆嚢摘出術 (巨脾のため開腹脾摘)	2例
尿膜管遺残症	腹腔鏡下尿膜管摘出術	1例
鼠径ヘルニア	腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術	12例
胸腔鏡(補助)下		
漏斗胸	胸腔鏡補助下 胸骨挙上術(ナス法)	2例
ブラ	胸腔鏡補助下ブラ切除	1例(3回)
縦隔腫瘍(胸腺)	胸腔鏡補助下腫瘍生検	1例

* : Interval appendectomy 2例

胆道系疾患

胆道閉鎖症

日齡	性	病型	手術	D-BIL	bile lake	備考
75D	F	Ⅲ	葛西手術	1.3	—	肝門部肝空腸再吻合術
67D	F	Ⅲ	葛西手術	1.9	—	十二指腸閉鎖症術後、TOF 低出生体重(1918g)
87D	F	Ⅲ	葛西手術	0.9	—	IUGR
143D	M	Ⅲ	葛西手術	9.1	—	

胆道拡張症

年齢	性	手術術式	備考
2Y	F	拡張胆管切除、肝管空腸吻合術	
5Y	F	拡張胆管切除、肝管空腸吻合術	
3Y	F	拡張胆管切除、肝管空腸吻合術	
9Y	M	拡張胆管切除、肝管空腸吻合術	先天性十二指腸閉鎖症術後
2Y	F	拡張胆管切除、肝管空腸吻合術	

ヒルシュスプルング病

	年齢	性	移行帯	術式	備考
1	4M	男	S状結腸	経肛門的根治術	
2	3D	男	?	人工肛門造設術	腸炎発症

直腸肛門奇形

性	病型	手術	(手術時年齢)
1 女	低(ano-vestibular fistula)	会陰式肛門形成術	(5M)
2 女	低(covered anal stenosis)	会陰式肛門形成術	(4M)
3 男	低(肛門皮膚瘻)	会陰式肛門形成術	(10M)
4 男	低(肛門皮膚瘻)	会陰式肛門形成術	(4M)
5 女*	中(anal agenesis)	仙骨会陰式肛門形成術	(7M)
		人工肛門閉鎖術(根治術後)	(1Y)
6 男	高(直腸尿道瘻)	仙骨会陰式肛門形成術	(5M)
		人工肛門閉鎖術(根治術後)	(1Y)

* :ダウン症候群

固形腫瘍

年齡	性	疾患名(原發部位)	手術	
1	4M	男	神經芽細胞腫(仙骨前)	腫瘍摘出術 腫瘍再增大→腫瘍再摘出術
2	8Y	男	神經芽細胞腫(右副腎)stageIV	腫瘍摘出術(化学療法後)
3	8Y	男	神經芽細胞腫(右副腎)stageIV	腫瘍部分摘出術(化学療法後)
4	8Y	男	神經芽細胞腫(左副腎)stageIV	腫瘍摘出術 (化学療法後)
5	3Y	女	Wilms腫瘍(右腎)	右腎動脈塞栓術→腫瘍摘出術
6	5Y	女	Wilms腫瘍(馬蹄腎)	腫瘍摘出術、下大靜脈内腫瘍核出術 右房内腫瘍摘出術(体外循環下)
7	9Y	女	成熟奇形腫(左卵巢)	腫瘤摘出術
8	12Y	女	dysgerminoma(右卵巢)	腫瘍生檢
9	13Y	女	漿液性囊胞腺腫(左卵巢)、莖捻轉	腫瘍摘出術
10	1Y	男	未熟奇形腫(右精巢)	高位除辜術
11	8Y	女	Solid & pseudopapillary tumor(胰鉤部)	腫瘤核出術

症例:26生日 男児

主訴:腹部膨満、排便困難、尿閉

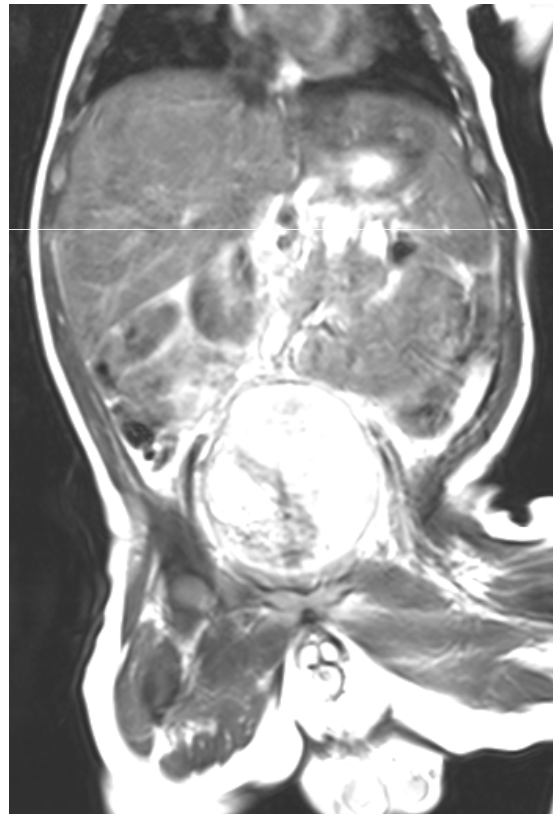
NSE198.9 ng/ml 尿中VMA 116.1 μ g/mg Cre, 尿中HVA 354.8 μ g/mg Cre

胸腹部単純XP



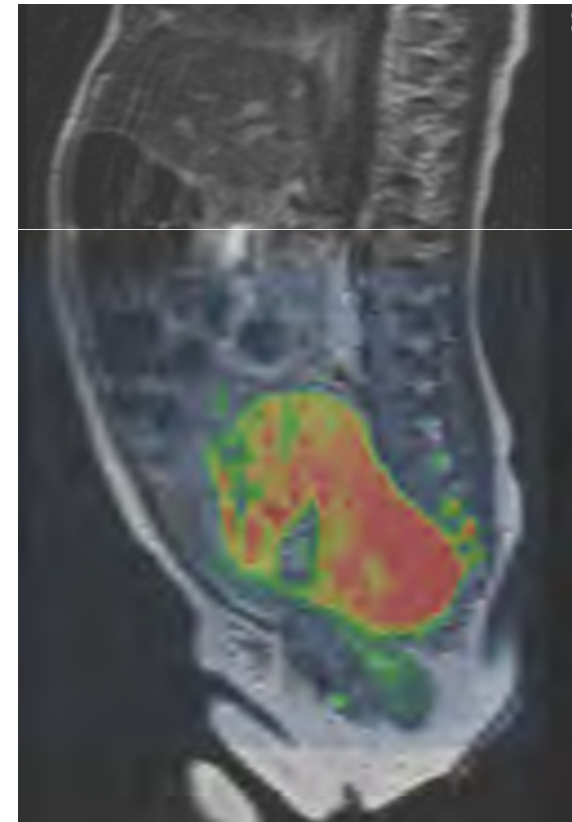
骨盤腔内の腸管ガス欠損

MRI



5cm大の一部石灰化を伴う腫瘍

MRI(拡散強調)



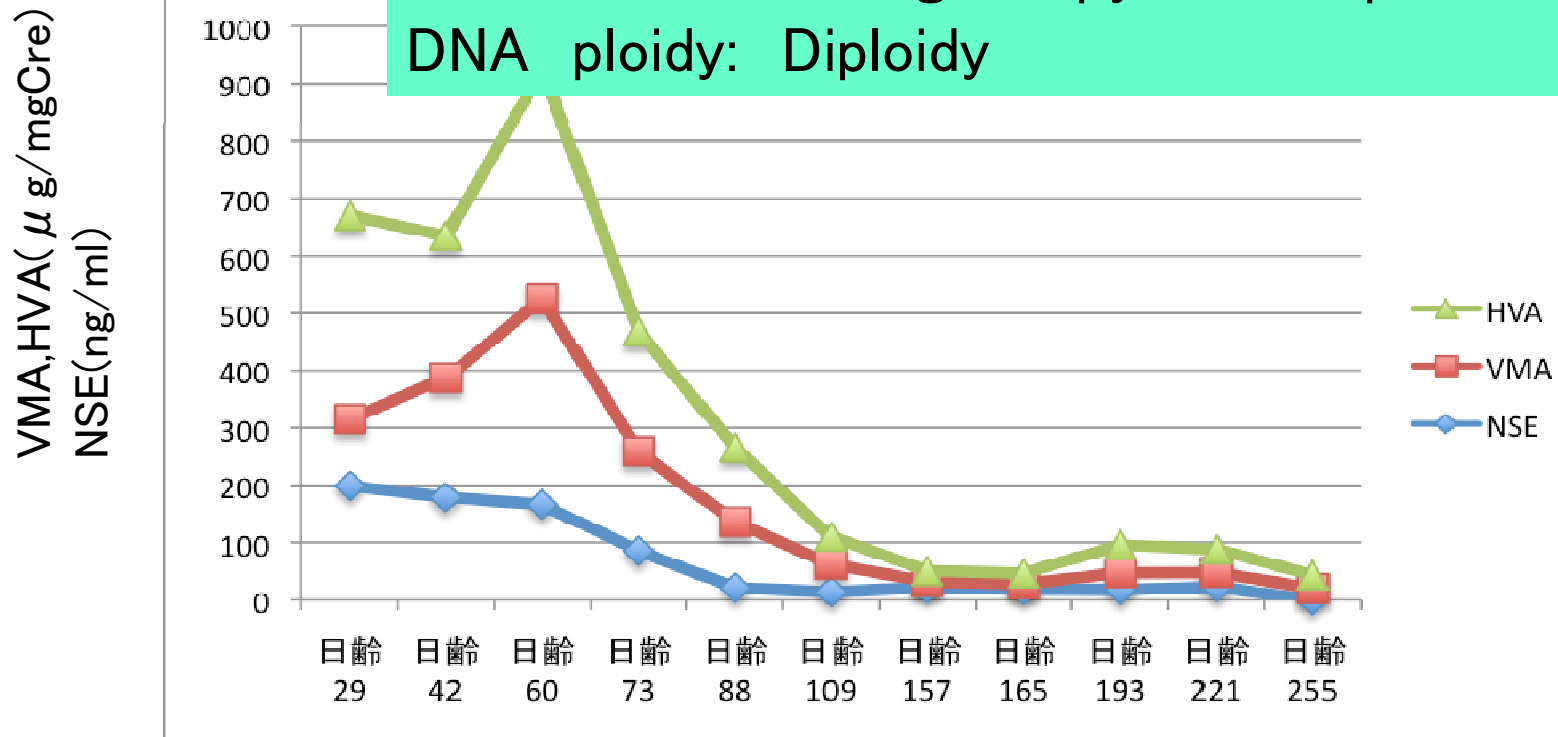
脊柱管内への伸展

【入院後經過】

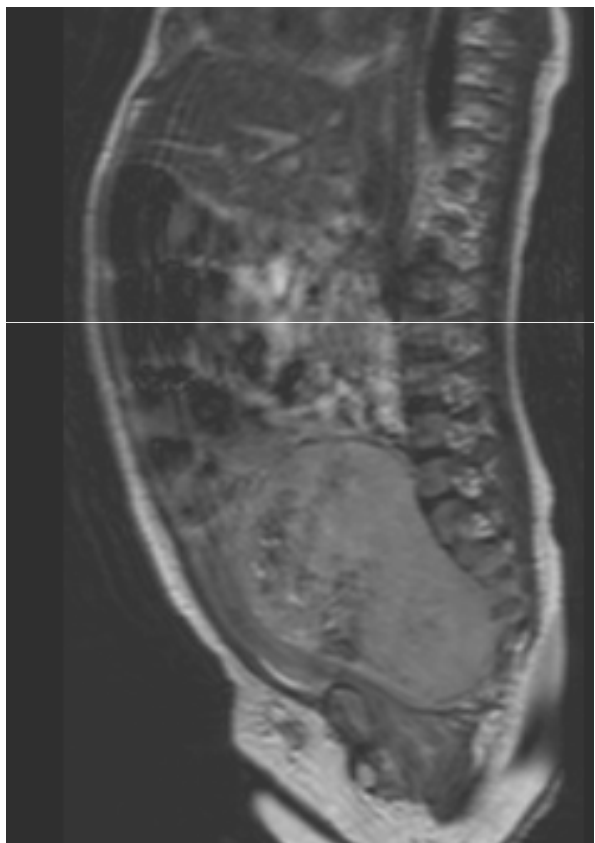
腫瘍生檢+人工肛門造設

腫瘍摘出術

Neuroblastoma,intermediat risk
Histopsthologic classification:favorable
Biologic factor:
MYCN status: single copy non-amplified
DNA ploidy: Diploidy



化学療法前



化学療法後



腫瘍摘出後

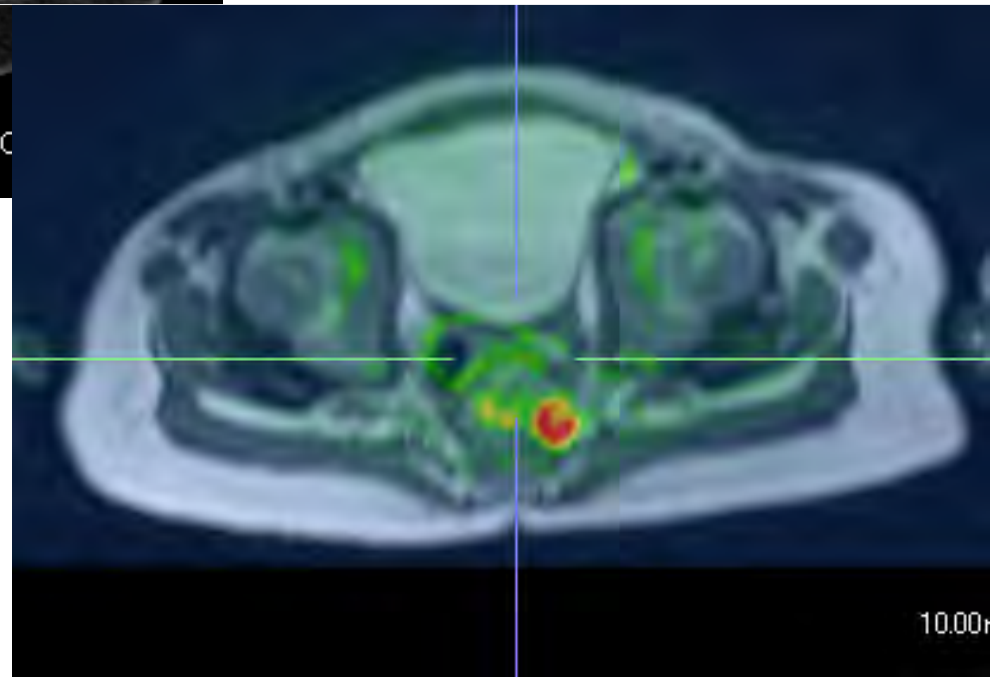


CT

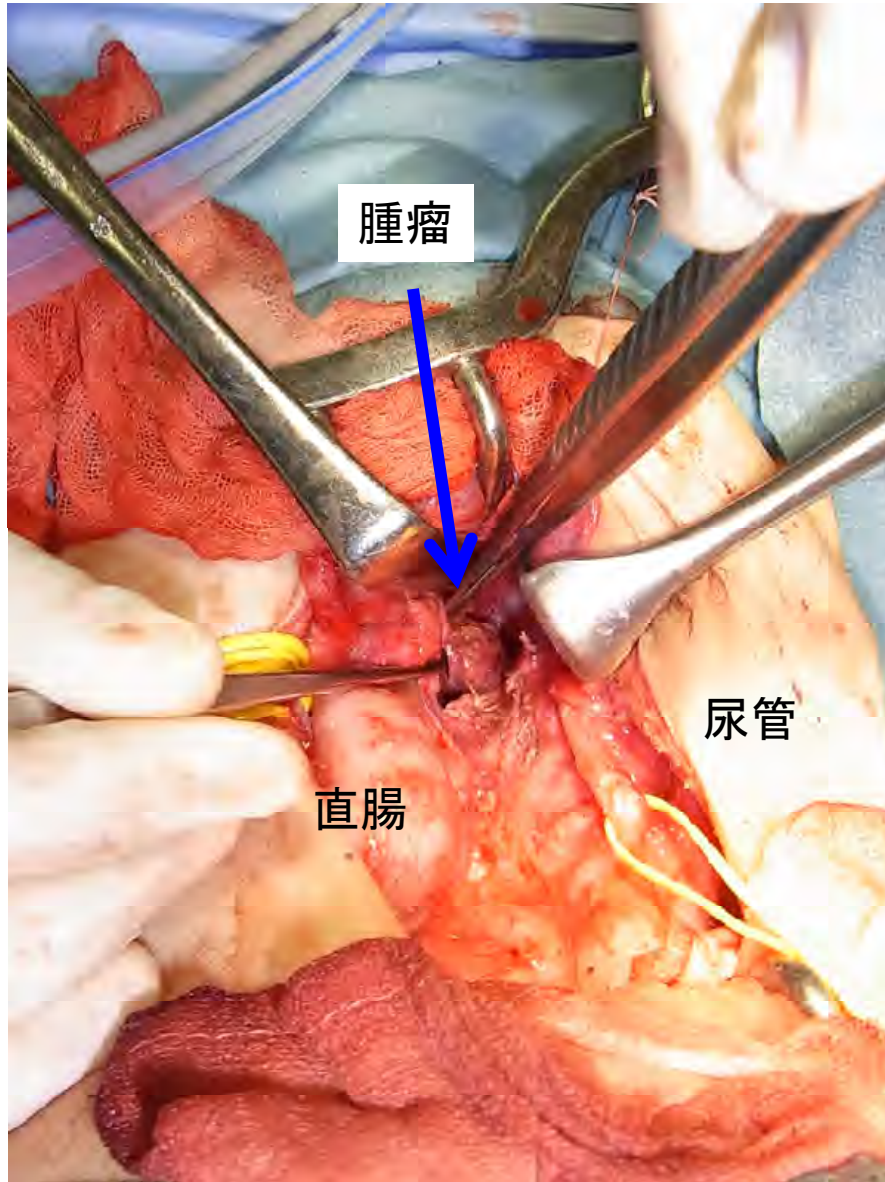


1歳時(術後6ヶ月)

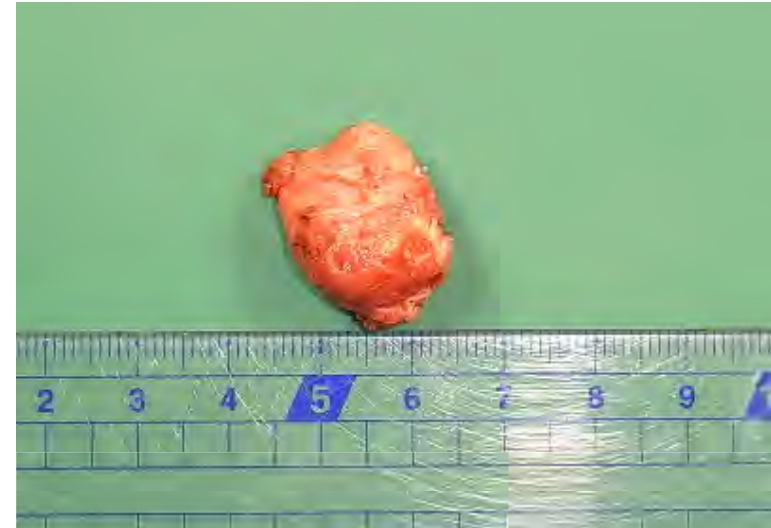
MRI(拡散強調)



手術所見



摘出腫瘍



Viabileな細胞(+)

症例：8歳 女児

現病歴

腹痛、嘔吐を主訴に近医を受診し、腹部超音波検査にて腹部腫瘍あり

来院時現症

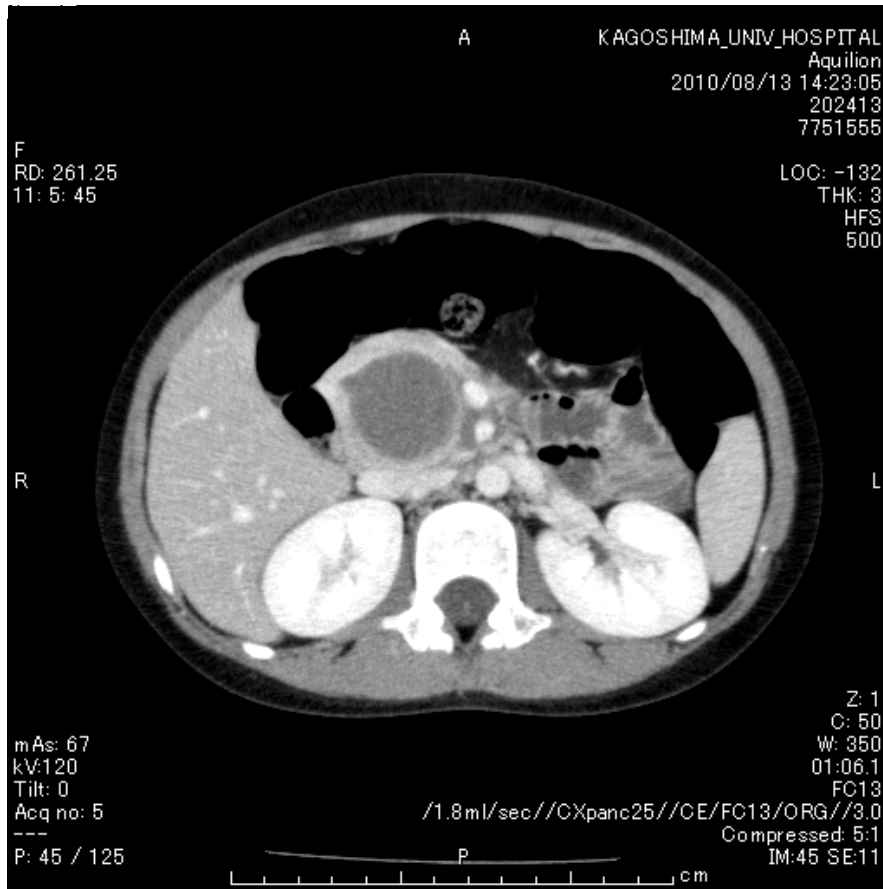
体温36.6度、血圧108／72mmHg

腹部：臍上部に軽度の圧痛あり

血液生化学所見

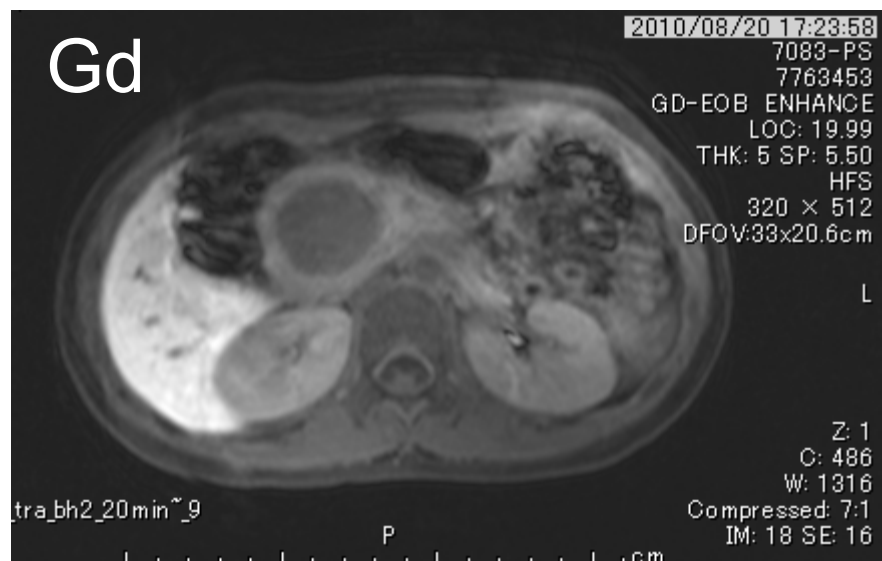
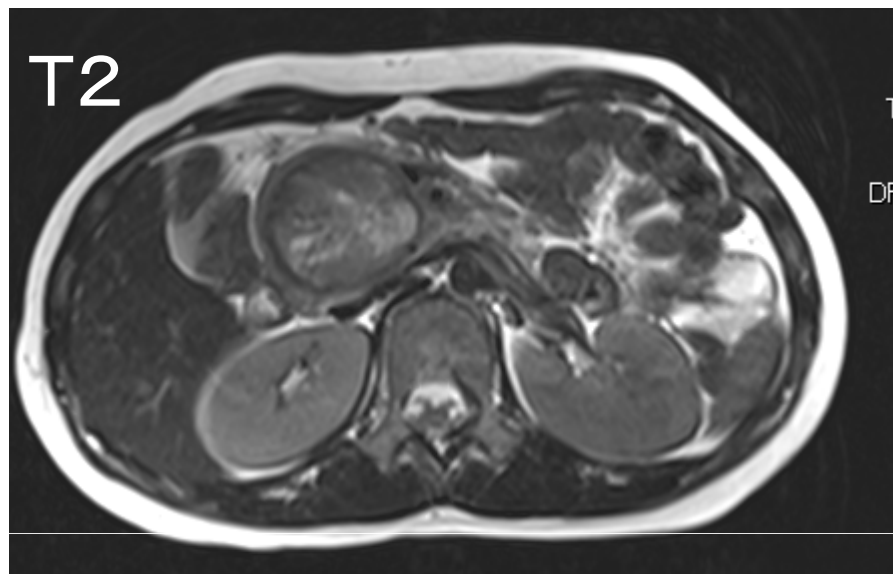
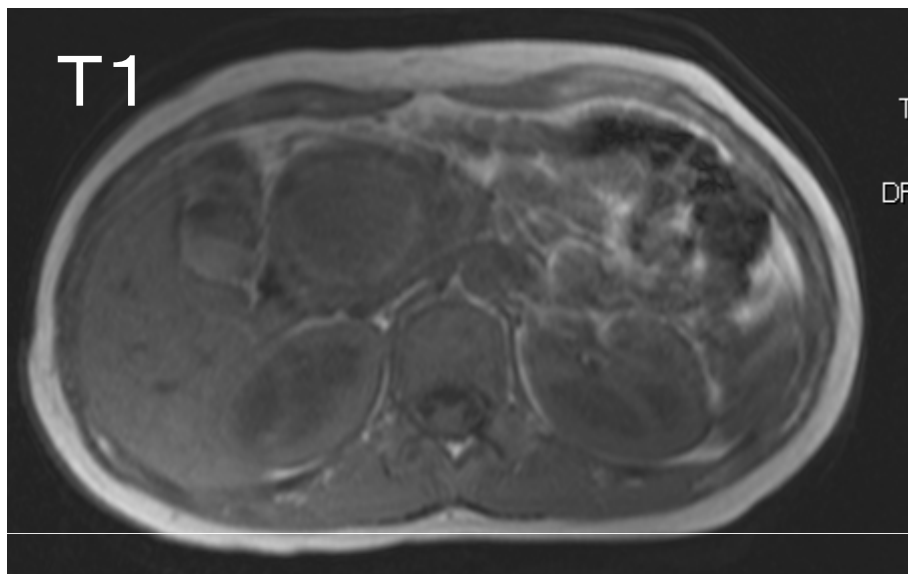
WBC	11960 /mm ³	AST	29 IU/l
RBC	499万 /mm ³	ALT	19 IU/l
Hb	14.2 mg/dl	アミラーゼ	97 IU/l
Plt	28.9万 /mm ³		

腹部造影CT



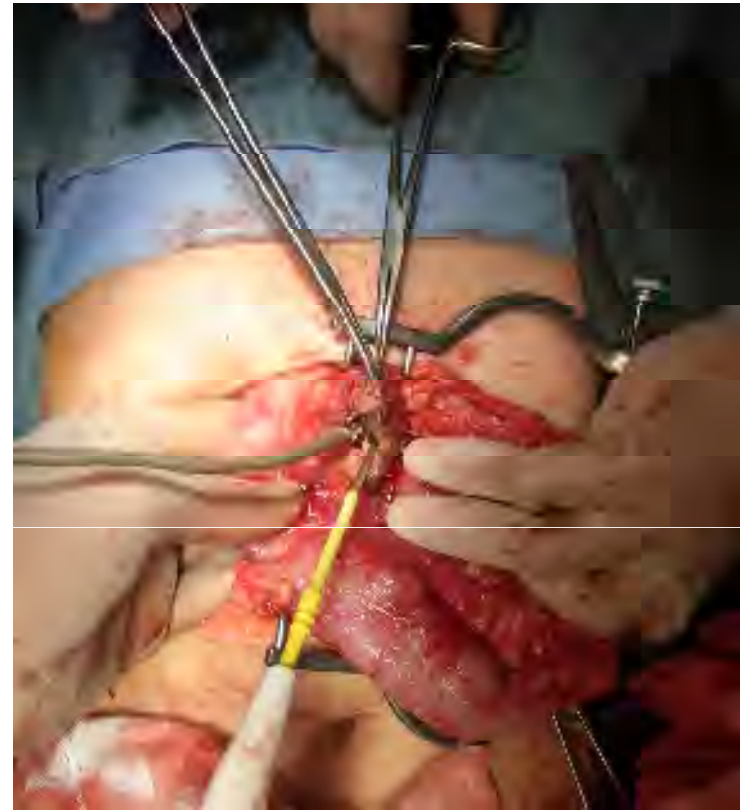
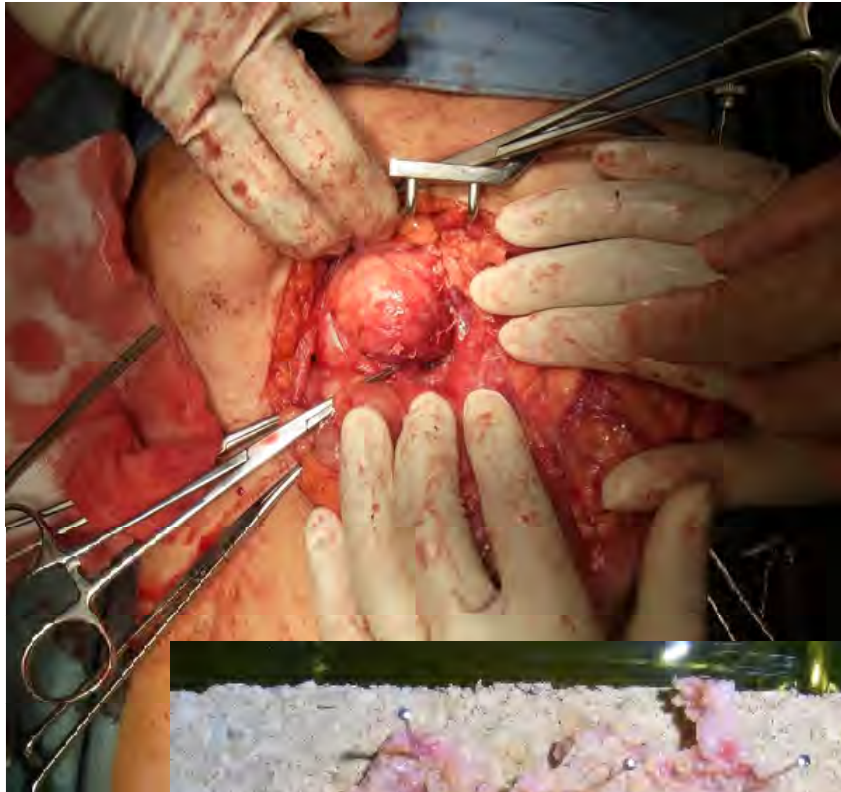
膵鉤部に 大の嚢胞性腫瘍
腫瘍内部は造影効果なし

MRI検査



造影効果を伴う壁を有し、内部は出血性嚢胞

術中所見



solid and pseudo-papillary tumor

その他の疾患

年齢	性	疾患名	手術	
1	2M	女	小腸捻転	小腸大量切除(残存小腸32cm)
			残存小腸壊死	人工肛門造設術(残存小腸16cm)
2	6M	女	先天性空腸狭窄症	膜様部切除、空腸形成術
3	9M	男	腸間膜リンパ管腫	リンパ管腫摘出術(結腸合併切除)
4	2Y	女	頸部巨大リンパ管腫	リンパ管腫切除、リンパ管静脈吻合術
5	1.6Y	男	急性虫垂炎、汎発性腹膜炎	虫垂切除術
6	11Y	男	メッケル憩室穿孔	腹腔鏡補助下メッケル憩室切除、端々吻合
7	8Y	女	交通外傷による肝損傷 消化管穿孔疑い	肝動脈塞栓術、肝損傷部縫合止血

症例：9ヶ月 男児

出生前超音波検査で腹腔内に嚢胞を指摘されていた。

出生後の超音波検査では嚢胞は認めず。

現病歴

9カ月時：39度の発熱、軟便に対して近医にて経口抗菌剤投与するも解熱せず。

2日後に腹部膨満も著明となり、近医にて腹部CT検査で多房性嚢胞を認めたため当科へ紹介。

MEPM投与

来院時所見

体温：37.4度、機嫌は比較的良好

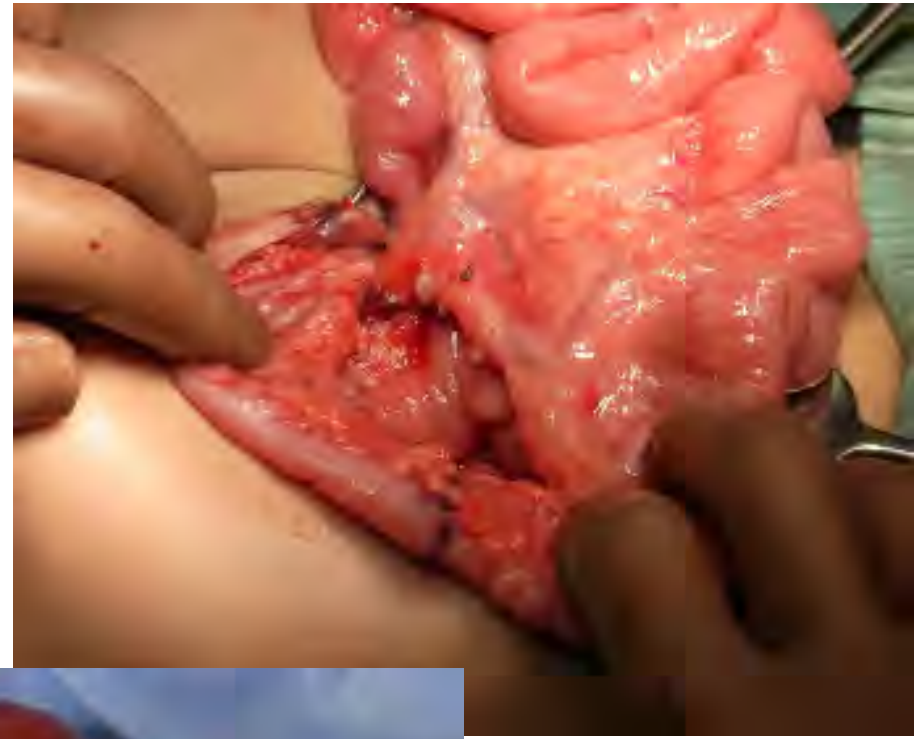
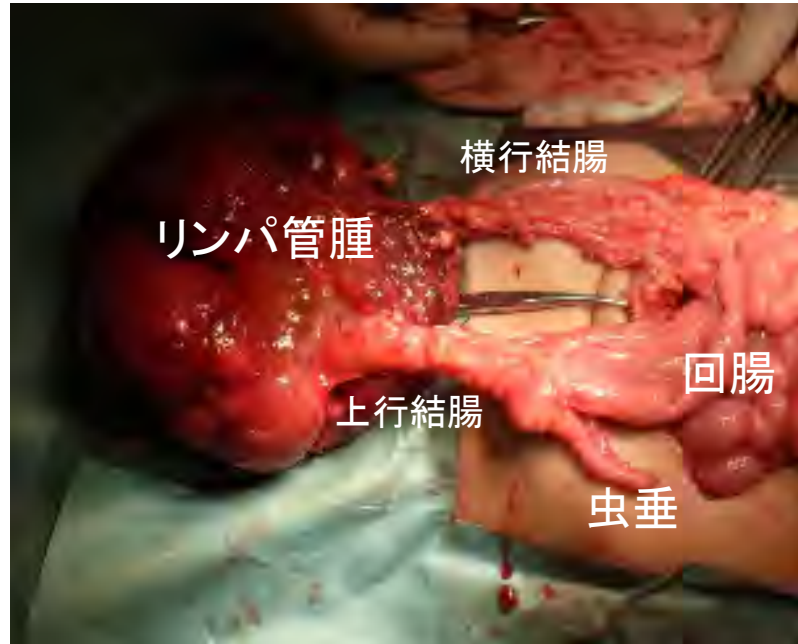
腹部膨満はあるが触診ではデファンスなし



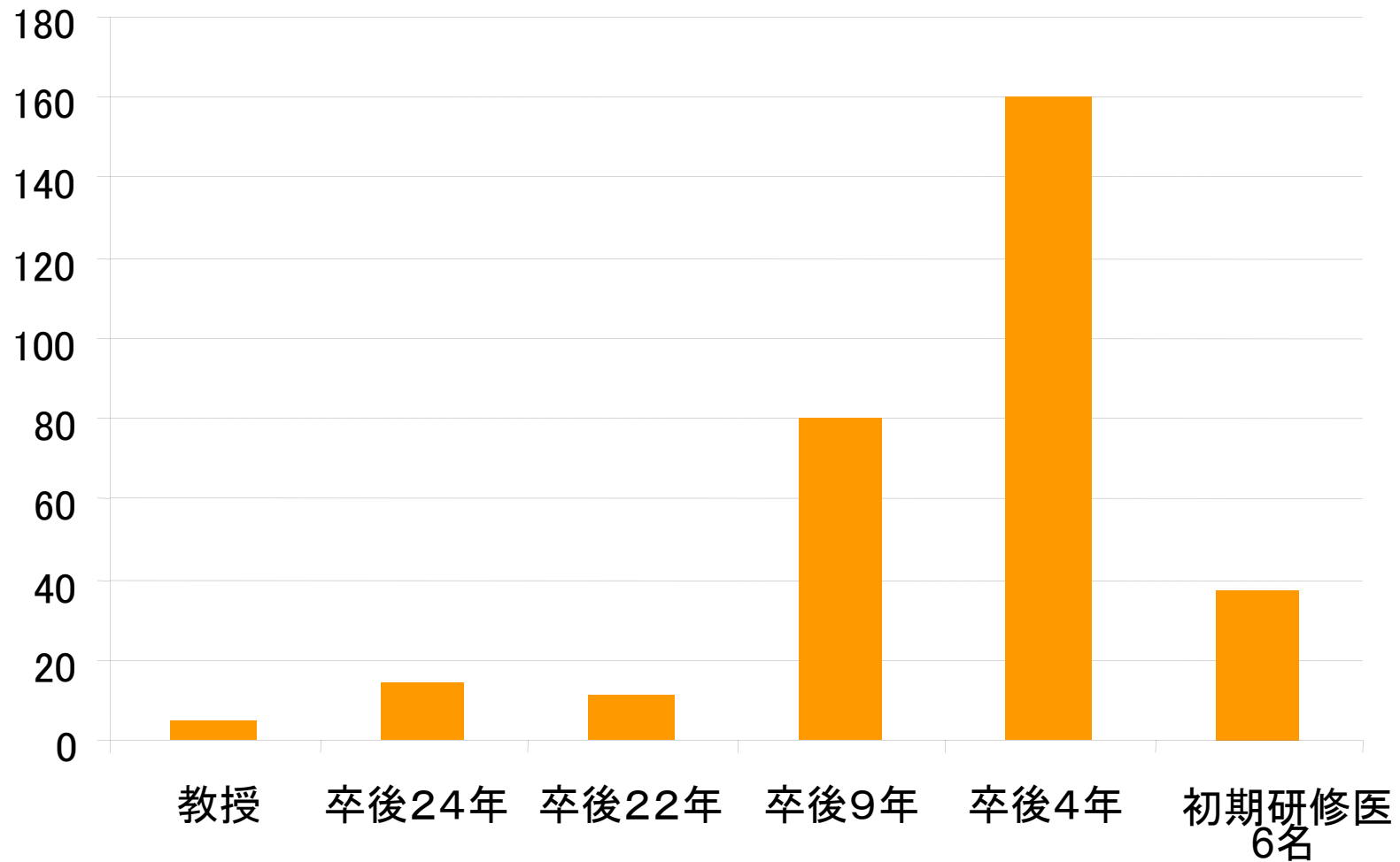
腹部単純X-P

腹部CT





2010年度(338例)術者経験数



主な手術内容(卒後4年目医師)

鼠径ヘルニア・ 陰嚢水腫・ 腹壁ヘルニア	41
CVカテーテル挿入	34
停留精巣	20
急性虫垂炎	12
気管切開	3
表在腫瘍摘出	3
人工肛門造設	3
人工肛門閉鎖	3

卵巣腫瘍摘出	3
胃瘻閉鎖	1
腸重積	1
低位鎖肛	1
胆道拡張症	1
肥厚性幽門狭窄 (新生児症例)	2
腸回転異常症 (新生児症例)	1
横隔膜ヘルニア (新生児症例)	1